

財政収支(1-4月)

(1) 1-4月の歳入は前年同期比36.4%増、税収は同47.2%増。歳出は前年同期比9.7%増。

(2) 結果として1-4月の財政収支は58.63億リラの黒字(前年同期比108.1%増)、プライマリーバランスは733.74億リラの黒字(同519.7%増)。

データ:財務省 単位:億リラ

歳入・歳出内訳	2020年1-4月(A)	2021年1-4月(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	3,209.94	4,379.06	36.4%
税収	2,252.24	3,314.20	47.2%
所得税	494.58	647.33	30.9%
法人税	279.69	428.11	53.1%
付加価値税(国内及び輸入)	558.38	1,043.08	86.8%
特別消費税	510.83	642.07	25.7%
その他税収	4.09	5.54	35.4%
税外収入等	9.58	10.65	11.2%
歳出(b)	3,937.73	4,320.43	9.7%
人件費	997.29	1,162.72	16.6%
物品及びサービスの購入	249.93	234.77	▲6.1%
経常移転	1,652.22	1,754.47	6.2%
資本支出	197.74	183.50	▲7.2%
支払利子(c)	552.96	675.11	22.1%
その他歳出	2.88	3.10	7.7%
財政収支(a-b)	▲ 727.79	58.63	108.1%
基礎的財政収支(a-(b-c))	▲ 174.83	733.74	519.7%

経常収支(1-3月)

(1) 1-3月の経常収支は、77.69億ドルの赤字(前年同期は88.41億ドルの赤字)。

(2) 1-3月の貿易収支(物品)は69.51億ドルの赤字で前年同期から赤字幅縮小、旅行収支は18.43億ドルの黒字で前年同期から黒字幅縮小。

データ:中央銀行 単位:億ドル

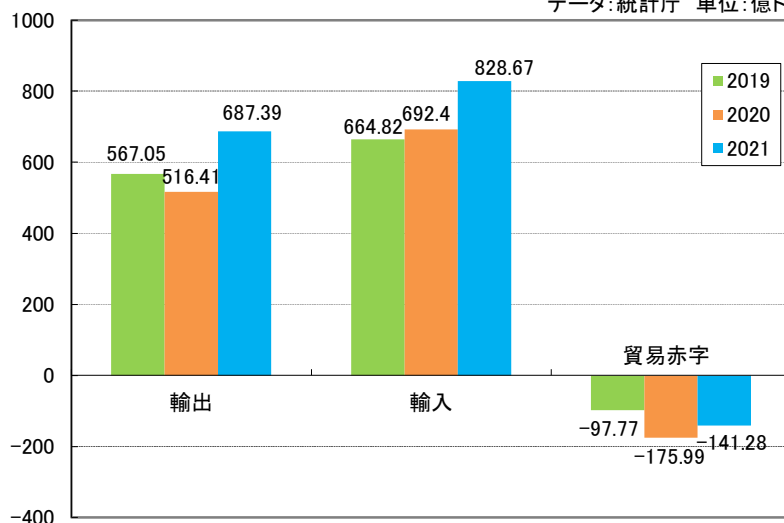
内訳	2020年1-3月(A)	2021年1-3月(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲ 88.41	▲ 77.69	12.1%
貿易収支(物品)	▲ 96.16	▲ 69.51	27.7%
サービス収支	34.58	18.67	▲ 46.0%
旅行収支	26.94	18.43	▲ 31.6%
第1次所得収支	▲ 23.75	▲ 28.94	▲ 21.9%
第2次所得収支	▲ 3.08	2.09	167.9%
労働者送金	0.39	0.35	▲ 10.3%
資本移転等収支	▲ 0.13	▲ 0.21	▲ 61.5%
金融収支	▲ 103.58	▲ 8.72	91.6%
直接投資	▲ 20.77	▲ 13.56	34.7%
証券投資	63.75	5.96	▲ 90.7%
その他投資	18.67	15.62	▲ 16.3%
外貨準備	▲ 165.23	▲ 16.74	89.9%
誤差脱漏	▲ 15.04	69.18	560.0%

貿易収支(1-4月)

(1) 1-4月の輸出額は687.39億ドル(前年同期比33.1%増)、輸入額は828.67億ドル(同19.7%増)となり、この結果、貿易収支は141.28億ドルの赤字(同19.7%赤字幅縮小)となった。

(2) 1-4月の輸出額におけるEU向け輸出の占める割合は42.0%(前年同期は41.3%)、輸入額におけるEUからの輸入の占める割合は34.5%(前年同期は31.6%)となっている。

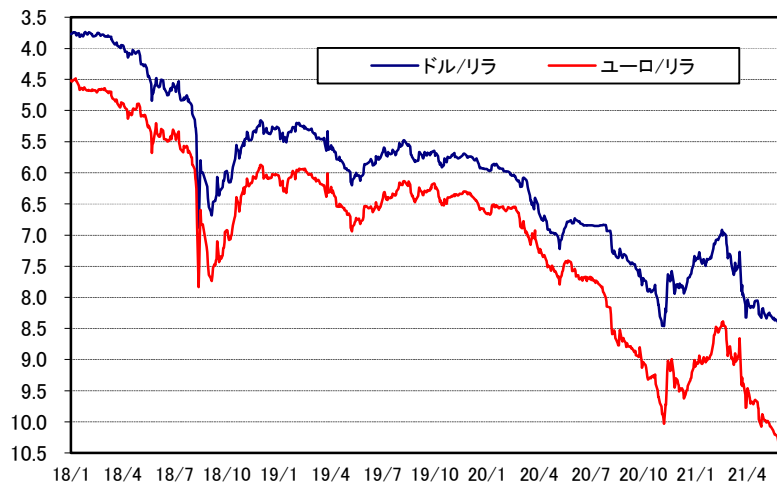
データ:統計庁 単位:億ドル



為替(5月)

金融政策委員会(6日)は市場予測通り政策金利を据え置いたものの、米国のテーパリング観測、中銀副総裁の解任(25日)、S&Pの格付け報道(28日)を受け、28日の取引時間中に史上最安値の1ドル=8.61リラを記録。5月末は1ドル=8.50リラ(前月末比3.2%安)、1ユーロ=10.36リラ(同3.9%安)となった。

データ:中央銀行 単位:リラ



消費者物価上昇率(4月)

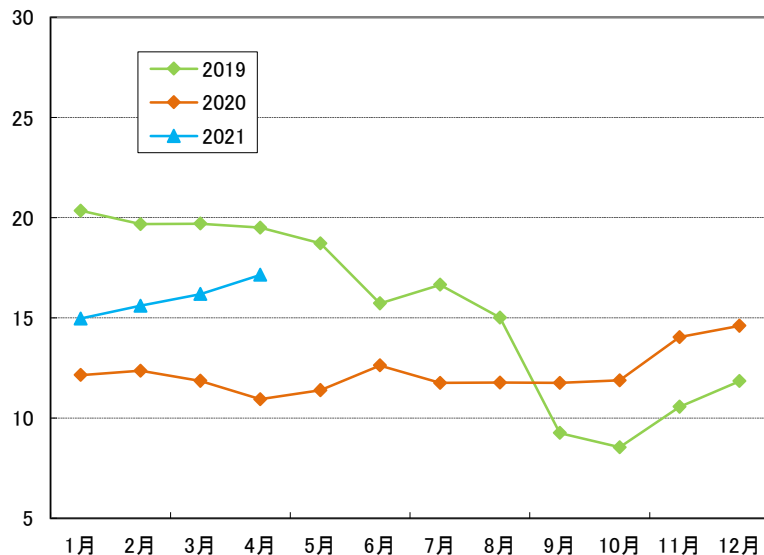
(1)4月の消費者物価は前年同月比17.14%増、前月比1.68%増。

(2)項目別にみると、前年同月比では輸送が同29.31%、前月比では衣類が同7.57%でそれぞれ最も上昇した。

(3)2021年末のインフレ率の中銀目標(4/29時点)は前年同月比12.2%。

(4)国内生産者物価指数は前年同月比35.17%増、前月比4.34%増となった。

データ:統計庁 単位:前年同月比(%)



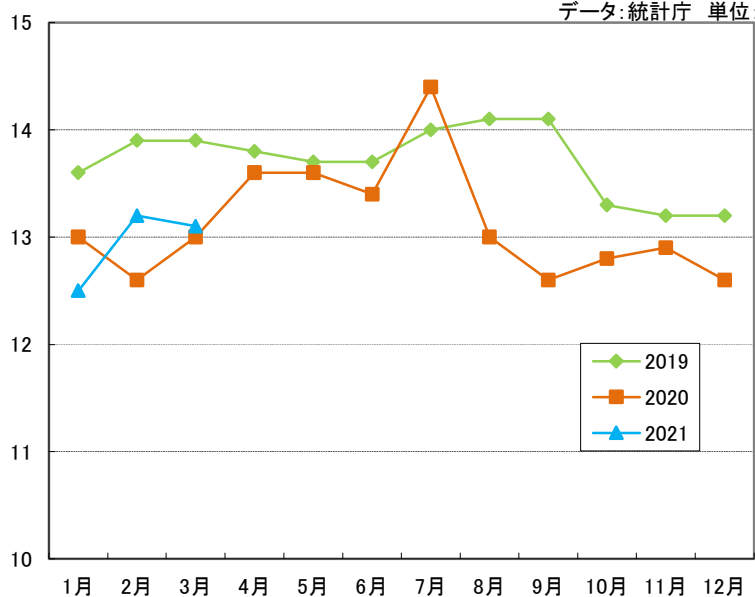
失業率(3月)

(1)3月の失業率(季節調整後)は13.1%。前月から0.1ポイント低下、前年同月から0.1ポイント上昇。

(2)労働力人口は3232.5万人、就労者数は2808.9万人、失業者数は423.6万人。

(3)男性の失業率は11.5%、女性は16.5%。若年層(15-24歳)の失業率は25.0%となっている。

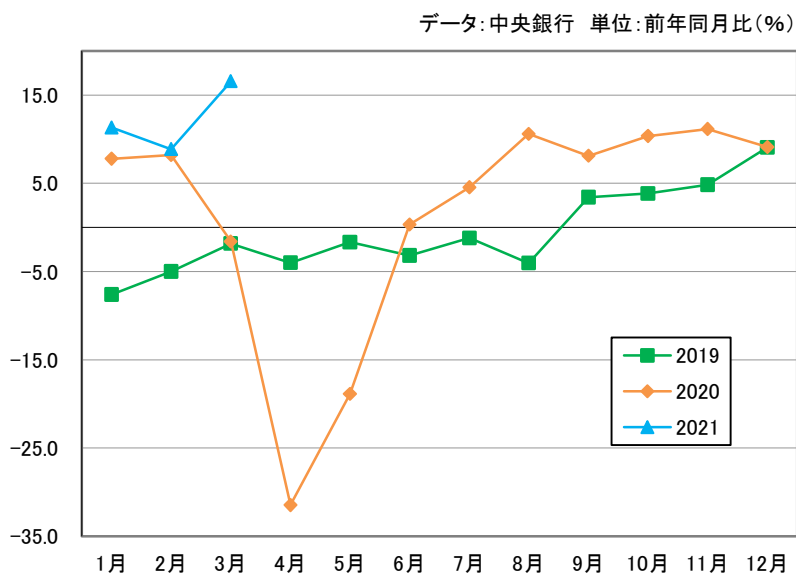
データ:統計庁 単位:%



鉱工業生産(3月)

(1)3月の鉱工業生産指数は、前年同月比(日数調整後)16.6%増、前月比(季節及び日数調整後)0.7%増。

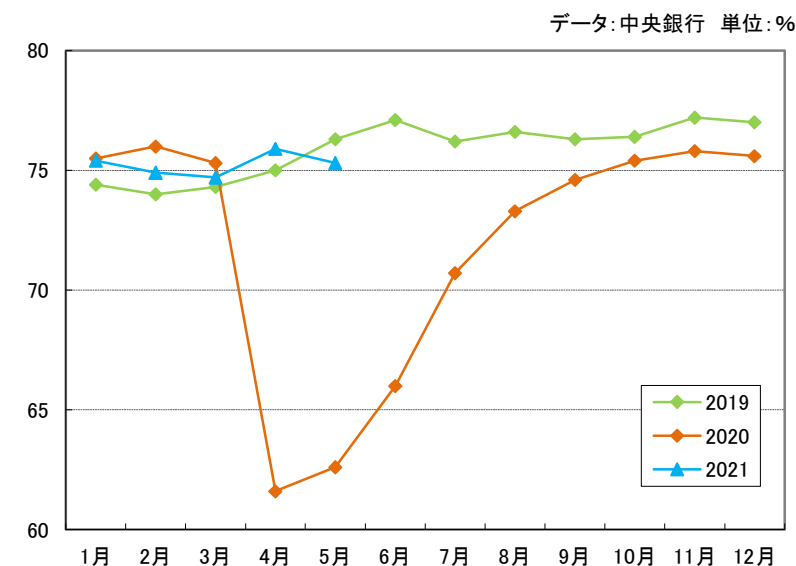
(2)分野別では、耐久消費財が前年同月比29.8%増、資本財が同21.2%増、中間財が同18.8%増となった。



設備稼働率(5月)

(1)5月の設備稼働率は75.3%となり、前年同月から12.7ポイント上昇し、前月から0.6ポイント低下。

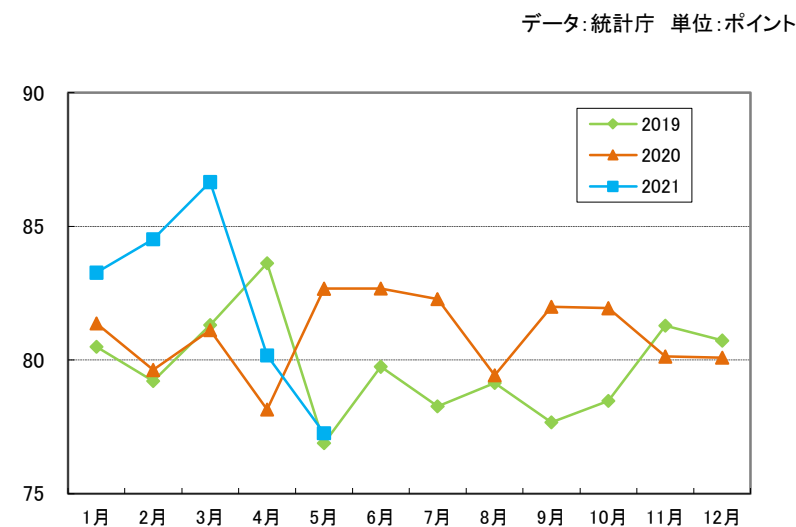
(2)製造業の分野別では、材木、木製品及びコルク製品(83.6%)が最も稼働率が高く、皮革及び関連製品(60.3%)が最も低い稼働率であった。



消費者信頼感指数(5月)

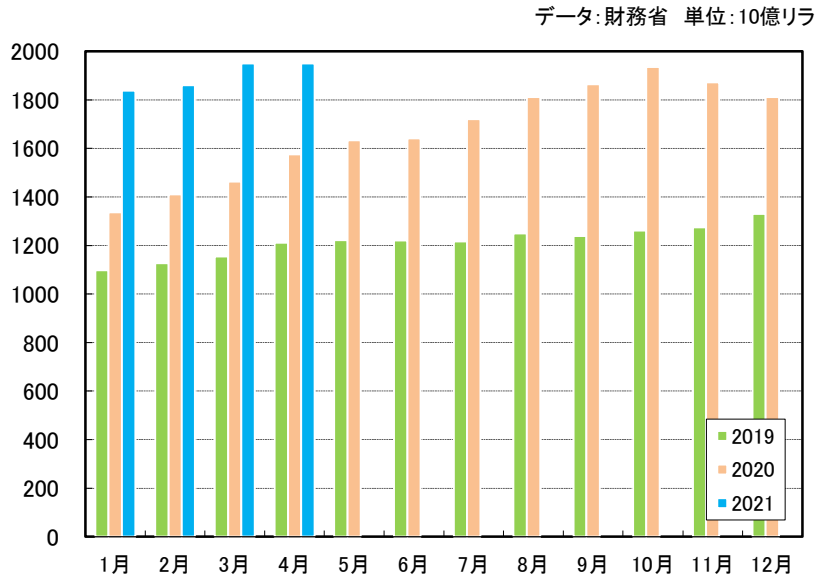
(1)5月の消費者信頼感指数(季節調整値)は77.3ポイントで、前月から2.9ポイント低下。

(2)内訳では、「現在の家計の財政状況」、「今後12か月間の家計の財政状況見通し」、「今後12か月間の一般経済状況見通し」、「今後12か月間の耐久消費財への支出見通し」の全項目が前月から低下した。



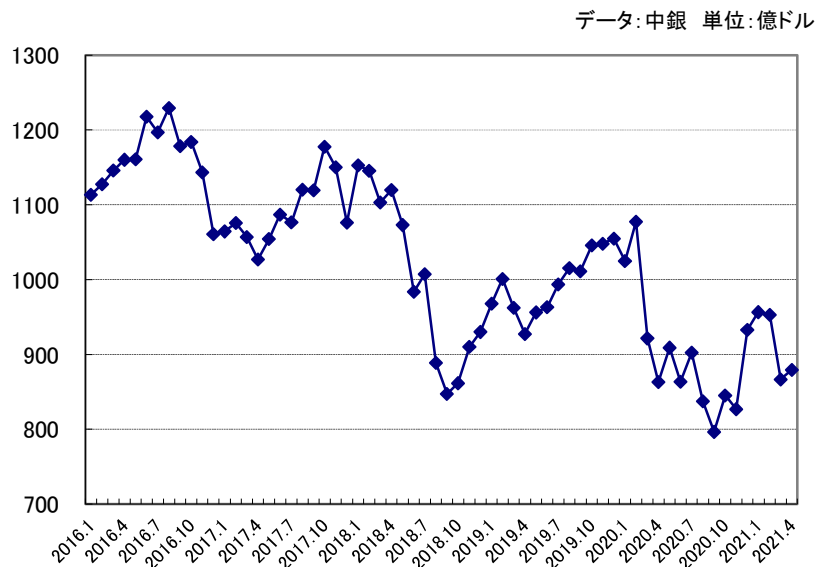
中央政府債務残高(4月)

(1)4月末時点での中央政府債務残高は1兆9495億リラとなり、前月比0.03%減、前年同月比23.7%増となった。
 (2)また、国内債務比率は57.4%、自国通貨債務比率は42.9%(2020年末は43.8%)となっている。
 (3)なお、債務残高のうち円は1.6%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。



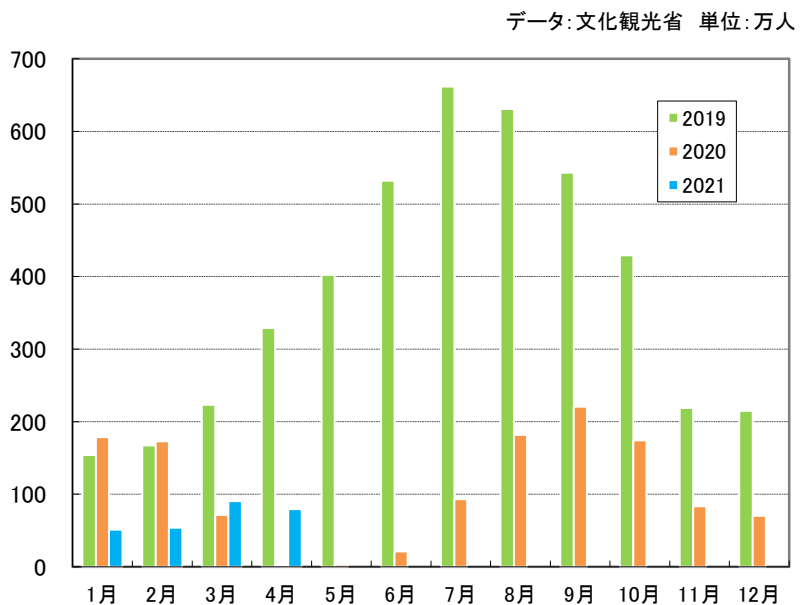
外貨準備高(4月)

(1)4月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は879.69億ドルとなった。
 (2)前月から12.8億ドル増加し、3ヶ月ぶりの増加となった。



外国人訪問者数(4月)

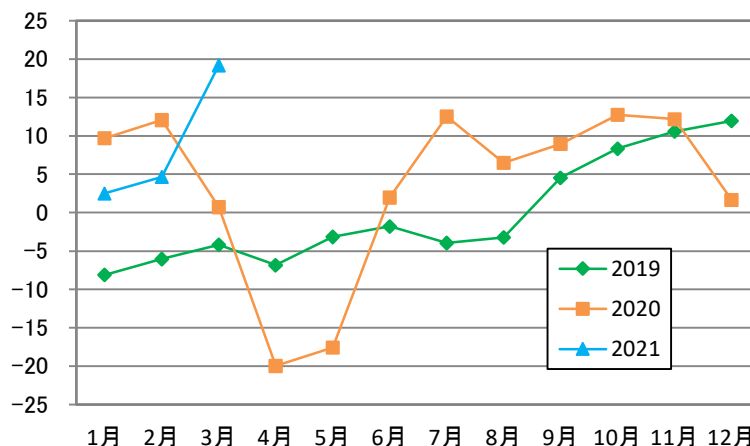
(1)4月の外国人訪問者数は790,687人で、前年同月比3162.18%増。日本は419人であった(前年同月は0人)。
 (2)国別ではロシアが最も多く、156,133人で全体の24.24%を占め、以下、ウクライナ(77,835人)、ドイツ(54,135人)となっている。



小売売上高(3月)

データ:統計庁 単位:前年同月比(%)

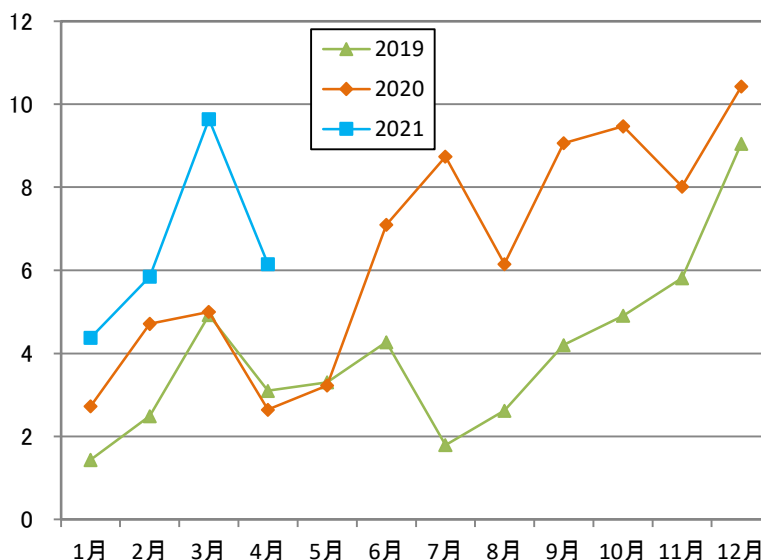
(1)3月の小売売上高は前年同月比(日数調整後)19.2%増、前月比(季節及び日数調整後)5.1%増。
 (2)内訳は食品・飲料・タバコが前年同月比0.8%減、通販が同76.8%増、繊維・衣料が同63.3%増となった。



新車販売台数(4月)

データ:自動車販売協会 単位:万台

(1)4月の新車販売台数は61,488台で前年同月比132.4%増。
 (2)4月の内訳は乗用車が48,375台(前年同月比121.6%増)、小型商用車が13,113台(同183.1%増)となった。



住宅販売戸数(4月)

データ:統計庁 単位:万户

(1)4月の住宅販売戸数は95,863戸で前年同月比124.1%増となった。
 (2)4月は新築が29,212戸(前年同月比96.7%増)、中古が66,651戸(同138.6%増)。
 (3)4月の住宅ローンでの購入は17,514戸(前年同月比2.5%増)、その他が78,349戸(同204.9%増)。

